

情報可視化論 最終課題

学籍番号：171x110x

氏名：北村毅

作成した課題の画面を以下の図1に示す。

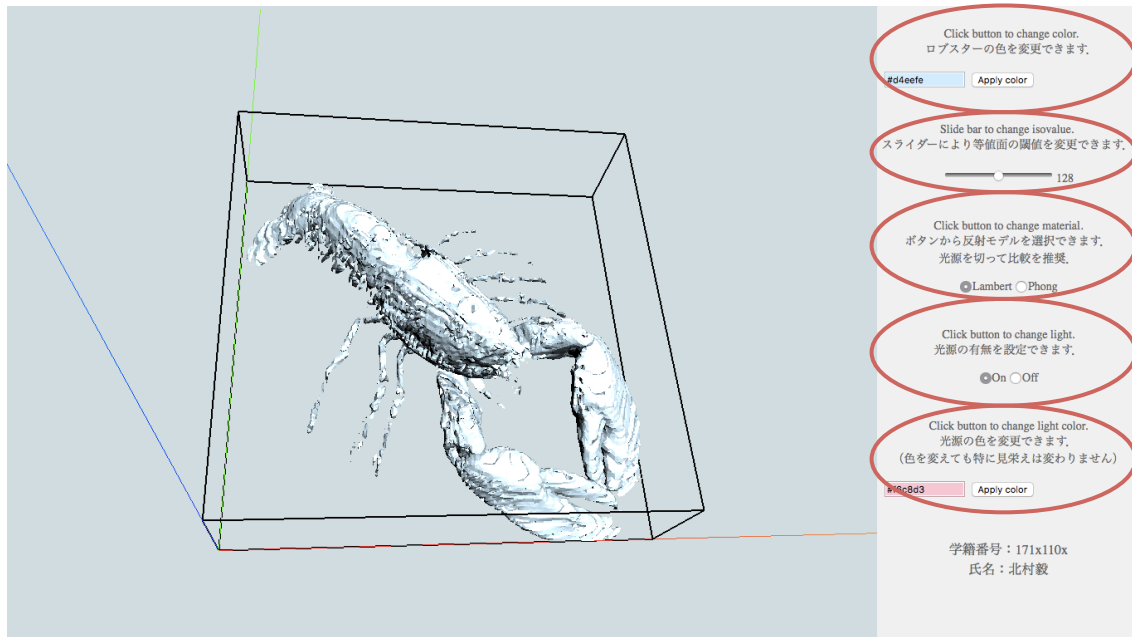


図1、「実行画面」

5つの機能を実装した。赤い円で囲っている場所について、上から順に「ロブスターの色の変更」、「等値面の閾値を変更」、「反射モデルの選択」、「平行光源の有無の設定」、「光源の色の選択」を実装している。

色の変更については図2に示す。色コードが書かれている場所をクリックすると、カラーを選択するパレットが提示される。色を選び、隣にある「Apply」のボタンを押すことによりロブスターの色が変化する。光源の色を変える場合も同じ操作を行う。

等値面の閾値を変化させる方法としてスライダーを用いた。スライダーの値に変化があればその値の等値面を描画し、使用した値をスライダーの横に表示する。

反射モデルと光源の有無は選択肢気になっている。切り替えた場合それにあつた挙動を行うが、変化がないクリック操作に対しては挙動を返さない。

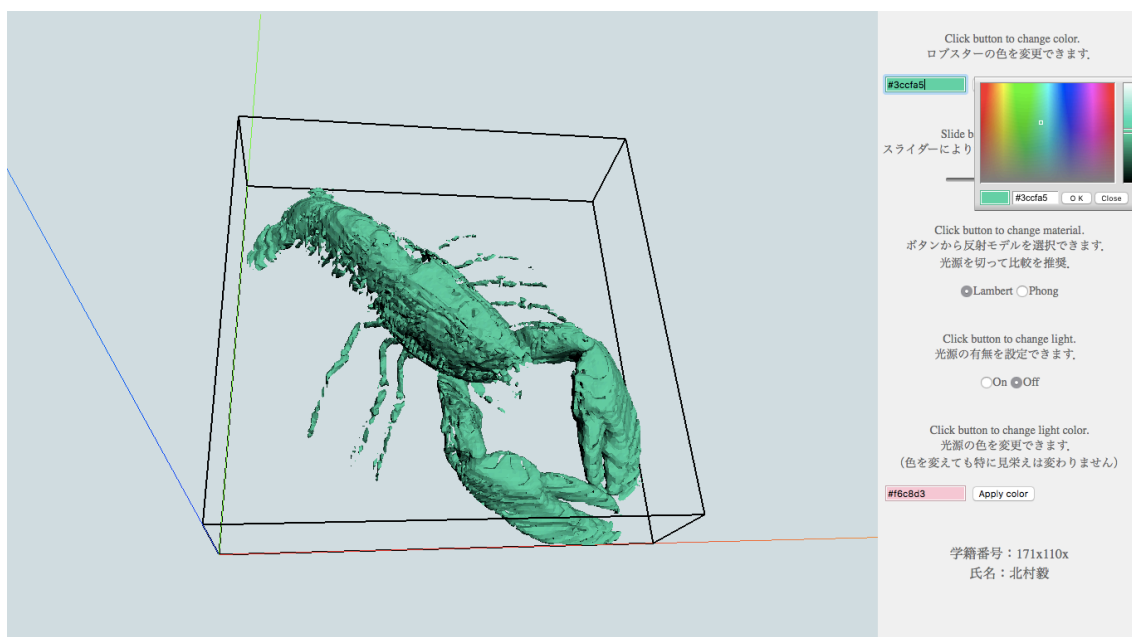


図 2, 「色の変更」